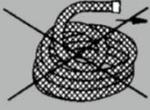
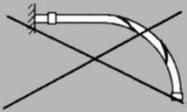


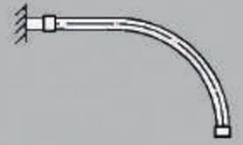
フレキシブルホースを設置するには下記の事項にご注意ください。



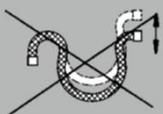
巻いたホースを伸ばすときは振じれない様ほぐしてください。



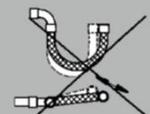
ホースを設置する際は振じらないようにしてください。



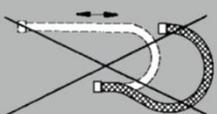
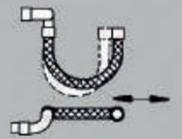
設置するホースの長さが適切であることを確認し、全体的に弧を描くように設置してください。



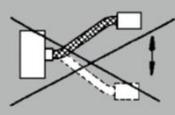
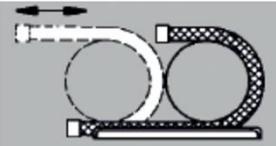
ホースに複雑な曲がりが生じないようにエルボ継手を使用して、ホースの曲げは1ヶ所だけにして下さい。



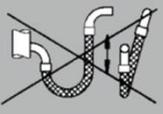
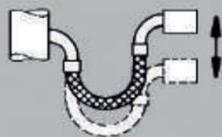
動きがある場合は2つの継手が同じ軸に沿っていることを確認してください。



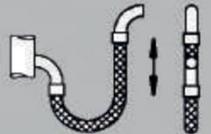
ホースが垂れると圧着部で破断が発生する危険性があります。垂れないようにレールで保持してください。



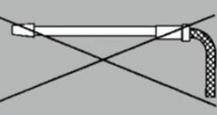
圧着部を引っ張るような動きをさせないでください。ホース全体で曲げを持たせるため、エルボ継手を使用してください。



エルボ継手が同じ軸上にないと、上から下に動かす際ホースに振じれが生じます。エルボ継手を同じ軸上に合わせてください。

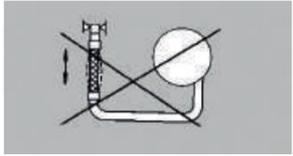


ホースを吊り下げる必要がある場合は、フックタイプのアンカーを使用しないでください。プーリーまたはその他の部品の使用が不可欠です。

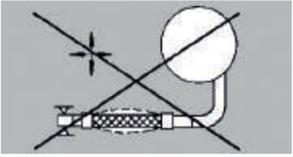
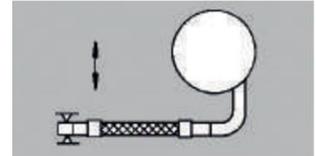


加締めたすぐそばを曲げないでください。エルボ継手を使用する必要があります。

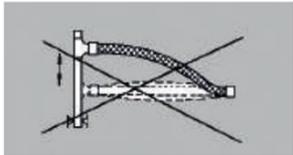
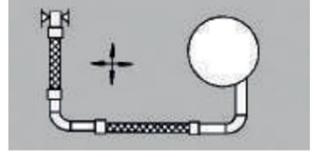




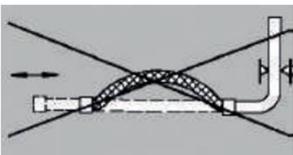
ホースを長さ方向に動かすのはとても危険です。この場合、可能な限りホースを水平部分に配置して動きを吸収します。



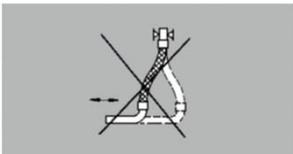
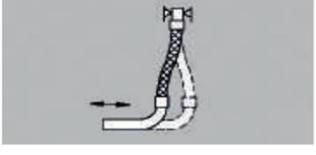
1本のホースで上から下への応力と左から右への応力を同時に引き起こさないでください。右図のようにホースを2本、あるいは1本でもホースの長さが十分とってください。



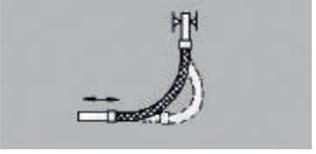
上下に動く場合、固定接続点の軸を中心にして動きを行うことが望ましいです。



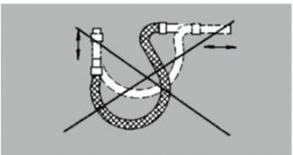
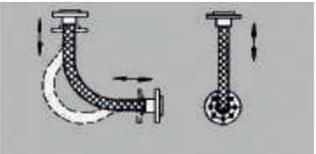
水平に置かれたホースに左から右への動くと、加締め部に負荷がかかります。ホースは垂直部分に設置してください。



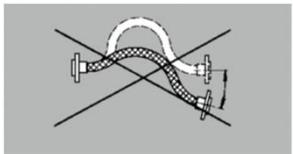
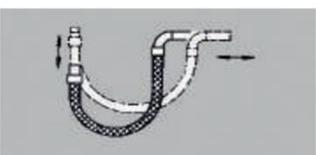
このような取り付けで振幅が大きすぎると、加締め部に負荷がかかります。エルボを入れず、長いホースに交換することをお勧めします。



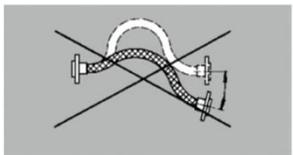
移動用途で使用する場合は、2点の位置を合わせて取り付けてください。そうでないと、ホースに負荷がかかり、劣化が早まる可能性があります。



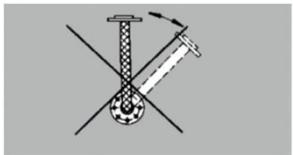
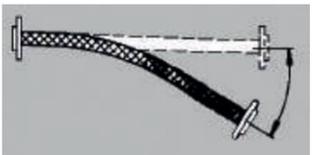
ホースが吊り下げられ、設置に水平出口がある用途では、ホースが加締め部にストレスを与えずに自然に下降するように、ホースにエルボ継手を装備する必要があります。



ホースに負荷がかからず、早期の劣化につながることをないように、ホースの長さは適切である必要があります。



動きがある場合、ホースの長さを正確に計算し、ホースにストレスなく適応できる必要があります。



ホースをひねるような動きをさせてはいけません。



注:

ホースは圧力変化や温度変化を考慮してホースの種類、口径、長さを決める必要があります。